

公益社団法人 地盤工学会
出版企画委員会
議事録

平成23年度 第5回

日 時：平成23年12月9日（金）15：00～17：30			会 場：地盤工学会地階B会議室		
委員長 荒瀬 義則	○	幹事長 楡井 一昭	○	幹 事 橋 伸也	○
幹 事 仲山 貴司	×	委 員 土屋 光弘	×	委 員 細野 康代	×
委 員 山木 正彦	×	委 員 深田 久	○	委 員 福村 一成	○
委 員 小川 鉄平	×	委 員 和田 健一	×	委 員 森口 周二	×
委 員 杉本 映湖	○	委 員 中井 宏	×	ワザバー 李 圭太	×
ワザバー 清木 隆文	×	ワザバー 川井 康右	×	ワザバー 高橋 直樹	×
ワザバー 岩波 基	×	事務局 永田 満枝	○		

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……(別紙-1)
 - ・福村を指名。
 2. 前回議事録(10/21)の確認……(別紙-2)
 - ・承認された
 3. 前回事業部会(10/25)報告……(別紙-3)
 - ・荒瀬委員長より報告された。
 4. 理事会(10/28・11/30)報告……(別紙-4)
 - ・荒瀬委員長より10/28 書面会議 11/30 理事会 報告された。
 5. 事業部関係収支報告……(別紙-5)(添付資料-1)
 - ・永田様(事務局)より平成23年11月末までの出版事業実績、在庫数状況について説明があった。
 - ・セットでお得の効果は今後反映される見込み
 - ・昨年比6～7割の実績となる予想
 - ・「実務に役立つ・・・」, 「原位置岩盤・・・」は、過去の初版部数を検証してみる。
 - ・セットでお得が法人会員も対象としていることを広報PRする
 6. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(添付資料-2)
 - ・実務シリーズ「土の締固め」 図を見直し中(2か月程度)
 - ・実務シリーズ「シールド工法」原稿完成、2月初旬了予定
 - ・新企画、実務シリーズ「河川構造物の調査・設計から施工まで」 計画書を検討中
 - ・新企画、実務シリーズ「地盤改良の調査・設計から施工まで」12/14 委員会開催 執筆者確定の予定 6月頃に原稿上がる予定、シリーズ番号#31に変更となる。
 - ・入門シリーズ「地盤工学における性能設計」 3月末までに原稿上げ、今年度予算で4月に出版予定
 - ・ジオテクノート「現場における地盤調査法の基本～・・・」準備委員会開催、執筆者決定した。(2013年出版の見込み)
 - ・「山止めの創意工夫となるほど納得 Q&A」11月に出版済 初版1500部(講習会申し込み状況を見て1000部から1500部に変更となった旨報告があった)
 - ・単独本「全国77都市の地盤と災害ハンドブック」最終原稿上り、1月下旬出版予定(初版700部)
 - ・新企画 新指針に対応した・・・ 指針の変更に対応 24年度出版予定
 - ・新企画 地盤のはなし 「土の締固め」作業終了後に今後の予定を確定する
 - ・新企画 子供向けの本 3月に今後の予定を確定する
- 2012年 3冊 新刊予定
2013年以降の企画必要(次回 新刊 or 新企画)
改訂でもタイトルの変更があれば新刊となることを確認

7. その他

- ・アカデミックロードマップと発展史・人物史について……(追加資料)
来年3月までの期間で準備作業
12月21日準備委員会開催予定(目次案と項目の委員長選出)
H25年4月出版を目標とする
- ・セット de お得の実施について
広報を強化する(会誌の目立つところへ、本部・支部講習会や職場班へのチラシ等)
- ・平成24年度予算について……(添付資料-3)
検討意見が未着→メール審議となる見込みが示された
出版企画委員会が震災に関連して何か企画できないか意見交換(次回予定)
例: 災害対策工法をまとめた本、テーマを決めて論文を集約し担当者に配布、など。

《審議事項》

1. 既刊本見直し評価について……(別紙-6)(参考資料)

以下のように見直し審議決定した。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ・入門シリーズ 35 地盤・耐震工学入門 | 継続販売 |
| ・入門シリーズ 36 分かりやすい構造物基礎 | 継続販売 |
| ・根切り工事と地下水 | 改訂 |
| ・地盤改良のトラブル | 改訂 |
| ・薬液注入工法の理論・設計・施工 | 継続販売 |
| ・N値とC・φの活用法 | 継続販売 |
| ・FEMシリーズ 弾塑性有限要素法がわかる | 改訂 |
| ・地下水を知る | 継続販売 (今年度増刷) |
| ・建設計画と地形地質 | 改訂 |
| ・杭基礎のトラブルと対策 | 継続販売(増刷+改訂作業すすめつつ) 在庫 |

が多く売り上げ見込みが少ない書籍について、販売促進策を検討する。

2. 新刊本(土の締固め・シールド工法)の初版印刷部数について……(別紙-7)

- ・土の締固め、シールド工法の2新版について初版部数検討プログラム(エクセル)を利用し1000部と1500部で印刷見積りを取るようになった

3. その他

新刊部数、増刷部数は1月にメール会議にて審議決定する予定

次回委員会開催日:平成24年 月 日() 地盤工学会 会議室